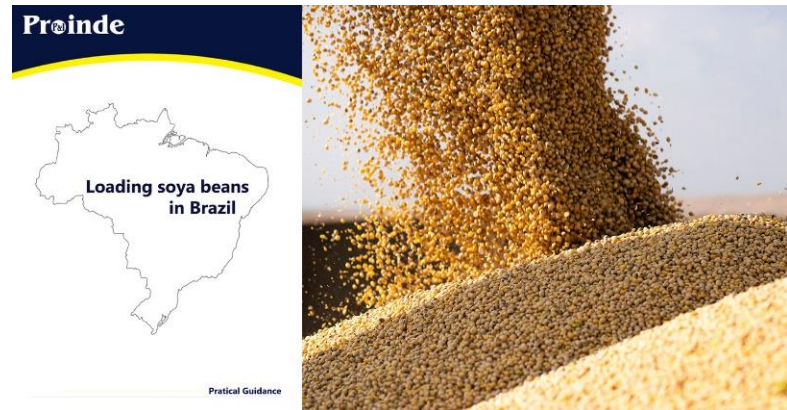


## ブラジルでの大豆の船積みに関する実用ガイド

こちらは、英文記事「[Loading soya beans in Brazil – practical guidance](#)」(2020年12月16日付)の和訳です。

このたび、Gardの現地コレスポンデントである Representacoes Proinde Ltda.よりブラジルでの大豆の船積みに関する総合ガイドが発行されました。参考用として、また実用情報としてぜひお役立てください。



Proinde社の[ウェブサイト](#)で、大豆は世界で最も多く消費されている油糧種子で、栽培量・収益力共にブラジルーの作物であると紹介されています。また、収穫地域が拡大し、生産性向上のために先端技術を導入したことによって、ブラジルの大豆輸出量はこの10年で約2倍に増えたことも紹介されています。米中の貿易摩擦が続いていることで、ブラジルは世界最大の大豆生産国・輸出国に返り咲きました。

Proinde社の総合ガイド『[Loading soya beans in Brazil \(ブラジルでの大豆の船積み\)](#)』(2020年11月発行)では、現在と過去の視点からブラジルにおける大豆の重要性を概観し、国内の輸送・港湾システムの特徴や大豆の品質・等級基準の仕組みを紹介しているほか、大豆の船積み・積付・海上輸送に伴うリスクについても検討しています。読み物としても面白いうえ、参考情報としてもお役立ただけのものと思います。

その他の情報やロスプリベクションに関するアドバイスについては、[Gard Insight「ブラジルから中国への大豆貨物の輸送に関する専門家の見解」](#)と[「大豆貨物の熱損傷 - 検査の重要性」](#)をご参照ください。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gardは本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されています。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。